



障害者就労事業所における 紙媒体デジタル化拠点整備プロジェクトについて (宮城県×日本財団「働く障害者支援のための連携協定」)



1 内容

宮城県と日本財団が令和2年12月に締結した「働く障害者支援のための連携協定」に基づくプロジェクトとして、図書館の蔵書をはじめとした紙媒体をデジタル化する大規模な業務拠点を県内の障害者就労事業所に2ヵ所整備します。

日本財団は、令和4年度の国会図書館の蔵書デジタル化業務受注を目指し各種準備を進めており、その受け皿の整備を行うとともに、県としても県図書館の蔵書デジタル化業務予算を確保し、障害者の賃金・工賃向上を支援していく計画です。

【障害者就労事業所で受注する業務工程】



2 整備拠点

- 社会福祉法人共生福祉会「萩の郷福祉工場」
- 社会福祉法人宮城県障がい者福祉協会「第二啓生園」

県内における
目標年間受注量
100万コマ
(6,000冊程度)

- ※ 各拠点7台のスキャナーやPC機材，耐火保管庫等を整備中
- ※ 各拠点10名～20名程度の障害者が業務に従事予定
(新規利用者・職員の求人を募集中)

3 日本財団及び県からの支援

- ・ 日本財団は、各拠点に対し、スキャナー・書庫等の専門機器整備の助成を行います。
- ・ 県も、①施設改修に係る費用の助成事業，②県図書館の蔵書デジタル化事業の予算案を2月県議会に提出します。

4 今後の予定

- ～3月 各拠点で働く障害者の募集・採用
- 5月 施設・設備整備及び人員体制の整備完了
- 6月～ 各拠点でデジタル化業務の開始予定